

能登地域郵便局長に衛星インターネット設置説明会を実施

令和6年元日に発生した能登半島地震では、多くの地域が孤立状態となり指定避難所以外の避難所も含めて通信が途絶した状況に陥り、総務省と電気通信事業者は衛星インターネット機器(Starlink)をはじめとする通信機器を無償で貸与しました。しかし、避難所では初めて目にするStarlinkの設置に当たって、届いた機器を避難者だけでは設置できなかった、降雪のためアンテナを屋内に移設して回線断になったことに気づけなかった、機器のアップデートを故障だと誤認した、人の往来で接続ケーブルが外れていた、衛星アンテナの直近に大型の支援車両が駐車して回線断になった、等々の初歩的なトラブルがいくつか発生しました。

一方、能登地域の郵便局においても通信が途絶して業務継続が困難な中、業務上のみならず自らが避難した避難所においても通信確保の重要性を強く認識され、能登地域の郵便局長が集まる会合で、当局からStarlinkの設置方法等について説明を行ってほしいと要望が寄せられました。

これを受けて令和8年8月20日(木)、石川県穴水町「のとふれあい文化センター」において、能登地域の郵便局長約20人の参加を得て、当局の安東局長から衛星インターネットの概要、能登地震等で通信機器等の無償貸与を行い通信確保につなげた状況を説明した後、2グループに分かれてStarlinkの設置を参加者で行いました。

参加した郵便局長からは、設置方法のポイントを聞いて比較的容易に設置することが理解できてよかった、災害時には地域に根ざす郵便局として積極的に避難所で設置を支援したい、といった声が聞かれました。

最後に安東局長から、日頃から地域住民と顔の見える関係を構築されている皆さんから協力をいただき、災害時において避難所等での通信確保について、改めて要請を行って説明会を終えました。



Starlinkを組み立てる郵便局長の方々



設置が完了し、避難所等における通信確保に協力を要請する安東局長(右から二人目)